

「KYOTO 地球環境の殿堂」未来会議キックオフイベント 「EXPO KYOTO MEETING」開催結果概要

「KYOTO 地球環境の殿堂」未来会議のキックオフイベントとして、「EXPO KYOTO MEETING」(※) のプログラムの中で、「KYOTO 地球環境の殿堂」未来会議のコーディネーターを務めていただく浅利 美鈴教授（総合地球環境学研究所）より、「KYOTO 地球環境の殿堂」未来会議の概要説明を行っていただくとともに、実際に参加する学生から未来会議にむけた意気込みを語っていただきました。

なお、山極 壽一 氏（「KYOTO 地球環境の殿堂」運営協議会 会長）および中村 桂子 氏（第 14 回 KYOTO 地球環境の殿堂入り者）、エゴ・レモス氏（第 10 回 KYOTO 地球環境の殿堂入り者/10 周年記念特別賞）もご登壇され、山極 氏と中村 氏より、未来会議の参加者に向けたエールをいただきました。

※EXPO KYOTO MEETING は、大阪・夢洲の万博会場にて京都の豊かな魅力やこれからの世界、人類、地球の在り方について、京都から世界へ「問い」を発信する 5 つのトークセッションと、伝統芸能から今を生きるユース世代まで、1000 年の時間軸でのパフォーマンスを披露するイベント。

1 日時

2025 年 4 月 23 日（水）午前 10 時～午後 6 時 45 分

※EXPO KYOTO MEETING の第 2 部第 1 セッション（午前 11 時～12 時 45 分）で実施

【プログラム（第 2 部第 1 セッション）】

- ・京都学生祭典 京炎 そでふれ！ 京都学生祭典大学生 約 70 名によるパフォーマンス
- ・京テキ・スタイル ショー 京都議定書誕生の地から、ふろしきを使ったパフォーマンスで持続可能な世界と未来 を提案
- ・トークセッション
山極 壽一 氏（総合地球環境学研究所 所長）
中村 桂子 氏（第 14 回 KYOTO 地球環境の殿堂 殿堂入り者）
寺田 宜弘 氏（ウクライナ国立バレエ芸術監督）
エゴ・レモス 氏（第 10 回 KYOTO 地球環境の殿堂 殿堂入り者/10 周年記念特別賞）
- ・「KYOTO 地球環境の殿堂」未来会議の概要説明
浅利 美鈴 氏（総合地球環境学研究所教授、「KYOTO 地球環境の殿堂」未来会議 コーディネーター）
- ・参加学生による未来会議への意気込みの発表
- ・山極 壽一 氏、中村 桂子 氏、寺田 宜弘 氏、エゴ・レモス氏より、世界の若者に向けたメッセージ

2 場所

万博会場 EXPO ホール「シャインハット」（大阪市此花区夢洲内）

3 開催内容（詳細）

（１）「KYOTO 地球環境の殿堂」未来会議の概要説明



「KYOTO 地球環境の殿堂」未来会議で森里海探究プロジェクトのコーディネーターを務めていただく浅利美鈴教授（総合地球環境学研究所 副所長）より、「KYOTO 地球環境の殿堂」未来会議の概要説明を行いました。

（参考）概要説明スライド

KYOTO地球環境の殿堂★未来会議 'The Earth Hall of Fame KYOTO' Future Forum

国内外の高校生・大学生等が、京都1200年の歴史の中で守り、共存してきた文化と多様な自然との関係について、3つのワークショップを通じて学び、人と地球の未来のあるべき姿について、「KYOTO地球環境の殿堂」国際会議（令和7年9月20日（土））で「未来への提言」として世界に発信します！ High school and university students will explore the relationship between culture and the natural environment that have remain thriving in harmony over 1200 years through three workshops across Kyoto Prefecture and will present their 'Proposals for the Future' at 'The Earth Hall of Fame KYOTO' International Conference (20 September 2025 (Sat)).

「古来文学（随筆）」探究プロジェクト "Ancient Literature (Essays)" Exploration 日本独自の古来文学に魅力、当時の人達と文学に惹かれる関係がどのような関係性を築いているのか、古来の文化と自然の共生・調和の事例やその現状を調査。 Touching on Japan's unique traditional literature, we explore the relationship between humans at that time and the forests, and plants in literature, as well as examples of the coexistence and harmony between ancient culture and nature, and the current state of this relationship.	「伝統産業」探究プロジェクト Traditional industries' Exploration 国内で古くから使用されてきた天然塗料「漆」について、伝統技術や使いながら現代のニーズに対応した新たな活用を学ぶ。漆の現状や魅力と人々の関心（生態系）を調査。 Learn about lacquer, a natural paint used in Japan for centuries, and the new challenges of updating traditional techniques and meeting the needs of the times, while exploring the current situation in the production areas and the relationship between nature and humans (ecosystem).	「森里海」探究プロジェクト MORISATSUMI (Forest, Village & Sea) Exploration 食料や木材などを供給し、人と自然の共生の場が育まれてきた森・里・海について、古来からの資源循環や持続可能な生態系（生態系）の現状を調査。 Explores the ancient resource circulation system, examples of ecosystem conservation and the current status of the forests, villages and oceans, which have sustained food, timber and other resources, and where people and nature have lived in symbiosis.
--	---	---

考察 (Consideration)
3日目(Day3) それぞれが得た学びを共有し、「未来への提言」を考えます
Sharing the ideas and discussing the Proposals for the future

（２）参加学生による未来会議への意気込みの発表

未来会議「伝統産業」探究プロジェクトと、「森里海」探究プロジェクトに参加する大学生が登壇の上、意気込みを語りました。



【太田 氏（「伝統産業」探究プロジェクト参加者（写真左））】

人の生活はすべて自然からいただいたものによって成り立っており、様々な環境問題はすべて人の生活によって引き起こされているため、人と自然はとても密接であり、切っても切り離せない関係にあると考えています。

私は、KYOTO 地球環境の殿堂未来会議の伝統産業探究プロジェクトで京都 1200 年というとても長い歴史の中で食器や工芸品、建築に使用されてきた天然塗料「漆」の原材料産出地見学やふき漆体験などを通して漆の現状や魅力、そして人と自然の関係や生態系について学びたいと考えています。

KYOTO 地球環境の殿堂未来会議で学んだことを活かし、人と地球の関係や漆の現状について、そして環境保全の大切さについて探究プロジェクトや未来会議に参加して初めて学んだ

ことや感じたことをたくさんの人に発信していきたいと考えています。



【鹿山 氏（「森里海」探究プロジェクト参加者（写真左））】

私は学生のまち京都でどれほどの学生が環境問題対策を意識しているのかという疑問から、専門は全く違いますが、京都府が主導している We Do Kyoto ユースサポーターなど環境に関する活動を行っています。また、大学のゼミでは「万博プロジェクト」のプロジェクトリーダーも行っており、様々な地域の万博を契機とした場に参加しています。

そして、私はこの未来会議の森里海探究プロジェクトにも参加します。そこでは学生間でコミュニケーションをとりながら、自分自身が育ってきた京都の自然豊かな環境について、「自分事化」しながら探究していきたいと思います。

そして、「自分事化」した結果を周りの学生にも伝えていき、自分自身から少しずつでも環境問題対策の「輪」を広げていきたいと思います。

（３） 山極 壽一 氏（「KYOTO 地球環境の殿堂」運営協議会 会長）と中村 桂子 氏（第 14 回 KYOTO 地球環境の殿堂 殿堂入り者）からの未来会議参加者へのエール



【山極 氏（「KYOTO 地球環境の殿堂」運営協議会 会長）】

外国人より、京都は過去を捨てていない場所だとよく言われるように、様々な時代の文化の名残が残っている。現代の人が節々に残された文化の薫りを感じることができる。未来会議に参加する学生にも、フィールドワークの中で確かめてもらい、未来に向けた提言につなげてほしい。



【中村 氏（第 14 回 KYOTO 地球環境の殿堂 殿堂入り者）】

20 世紀は人間が制覇している時代。日本人の暮らし方は、世界に向けての発信のベースとなる。昔からの文化や手に入れた様々な知識をここ京都から世界に向けて発信していただきたい。

4 主催・構成団体

(1) 「KYOTO 地球環境の殿堂」運営協議会

京都府、京都市、京都商工会議所、環境省、人間文化研究機構総合地球環境学研究所、公益財団法人国際高等研究所、公益財団法人国立京都国際会館

(2) 京都環境文化学術フォーラム

京都府、京都市、京都大学、京都府立大学、人間文化研究機構総合地球環境学研究所、人間文化研究機構国際日本文化研究センター